

2018. 6. 1

歴史民俗資料館だより No.124

長崎市歴史民俗資料館

〒852-8117 長崎市平野町7番8号

TEL (095) 847-9245 (FAX 兼用)

<http://www.city.nagasaki.lg.jp/kanko/820000/828000/p009251.html>

戦時中のくらし展

会 期 6月14日(木)～8月19日(日)

展示品 貨幣・紙幣・切手・軍事郵便葉書・手製の教科書・大東亜戦争世界要図・千人針・防空頭巾・もんぺなど 約230点

昭和12(1937)年の日中戦争勃発以降、第2次世界大戦へと向かい、日本は、戦時体制へと突入していきました。

そして長崎は、昭和20(1945)年8月9日に原子爆弾が投下され、約24万人の市民の半数以上が死傷するという悲惨な被害を受けました。

その当時、人々は様々な統制を強いられ、「ほしがりません勝つまでは」と質素、儉約のくらしをしなければなりません。日常生活に必要な物も手に入りやすく代用品や代用食がさかんにつくられました。

現在の豊かな生活と対比し、平和の尊さを考える機会として、このたび当館では「戦時中のくらし展」を開催いたします。

今回の展示に際しまして、貴重な資料をご寄贈、ご提供いただきました西崎八重子様をはじめ、多くの市民の皆様と関係者各位に深く御礼申し上げます。



手製の教科書

昭和20(1945)年に現物がなく、女学校の学生(13歳から14歳)が教師となり、小学6年生の教科書の挿絵を除き、1冊163頁全てを筆写したものです。



戦時郵便貯金切手

金貳圓 昭和18年

戦時貯蓄債券

金拾五圓 昭和19年

多額の戦費調達のために、政府は各種国債を発行しました。



大東亜戦争世界要図

独、伊、ソ、米、英各国の主要根拠地が記されています。そして、それらの国への日本軍の攻撃状況が記載されています。昭和17(1942)年頃のものです。



産衣

産衣には、昭和15年に結ばれた日独伊三国同盟国や戦争にちなんだ図柄が描かれています。



軍隊用水筒

昭和17年製造

本品は、西崎氏の父親が昭和18年出征時の所持品です。



紙芝居

踏切番と子供たち 昭和 18 年

踏切番と国民学校の子供たちを通して、戦意高揚をはかっています。



千人針

出征する兵士の武運と無事を祈願して、1枚の晒し布に千人の女性に赤糸で一針ずつ縫ってもらいました。



軍用手票

戦地、占領地で兵士が通貨の代用として使用した手形です。昭和 15 (1940) 年の 10 円札と昭和 19 (1944) 年の 100 円札です。



半鐘

昭和 16 (1941) 年に政府は、兵器生産のために金属回収令を出して供出させました。この半鐘もそれに伴い、供出されたものです。



恩賜の煙草

戦場で兵士が天皇陛下からいただきました。「賜」の文字の箱の中に日本専売公社製で菊の御紋の付いた煙草 10 本が収められています。



防空頭巾ともんぺ

戦時中、空襲から頭部を保護するための防空頭巾と動きやすいもんぺは欠かせないものとなりました。



エマル消火弾・陶製防砂袋

昭和 19 年 8 月 11 日に長崎は米軍の B 29 爆撃機で初めて空襲を受けました。そしてこれらの消火器具は各家庭に常備されました。